

戸田市市制施行 50周年記念式典

戸田市は1日、市制施行50周年記念式典を同市文化会館で行った。市内外から多くの関係者が出席して、記念すべき日を祝った。

同市は1966年に市制施行。当初は5万5千人だった人口は、現在では13万6千人に。この半世紀で、JR埼京線や東京外環道の開通で市は大きく変わった。

神保国男市長は「まちの力は、町を愛する人の力だ。住む人、働く人が誇りを持ち、

市内の小学4年生1300人が「10年後のわたし」に書いた手紙を代表の児童らが舟に乗せた。1日、戸田市文化会館



幸せを実感できるまちの実現へ全力で取り組む」と決意を語った。

塩川修副知事、美里町の原田信次町長やオーストラリア・リバプールのウエンディ・ウォーカー市長ら姉妹・友好都市の代表らが「さらなる交流の発展を」と祝辞を述べた。第2部では市内12校の小学校の4年生1300人が「10年後の自分」へ手紙を書き、代表の児童が舟に乗せた。

長年市政に貢献し、名誉市民第1号に選ばれた中村隆俊さん(88)は戸田中央医科グループ会長に、神保市長が名誉市民の証書と純銀製のメダルを贈った。中村さんは27年、北海道せたな町出身。62年に戸田市で戸田中央総合病院を開設し、地域に貢献してきた。



2016年(平成28年) 10月2日 日曜日